

# 北蒲原郡笹神村の植物方言と利用

情報提供：眞田治作・芳子（大多福食堂）

記録・整理：朱 雁

和名	(地方名)	利用(食用・薬用)、その他
アカマツ		葉をお水(温泉水42℃;リュック1つで2斗の水、1升当たり砂糖1kg)に漬けて飲むと心臓に良い。
アカメガシワ	(アカガシ)	
ウワミズザクラ	(ネズミザクラ・アンニンゴ)	青実を塩漬けて食べられる;赤実を酒漬けて飲む。
イタドリ	(ドンゴロ)	若芽を茹でてから炒めて食べる。多食すると下痢をする。
イワガラミ	(ツルアジサイ)	キュウリの匂いする時、食べ頃で茹でてからお浸しやみそ汁、蕎麦の薬味、てんぷらとしても食用。
エゴノキ	(ジシャガラ)	凸凹穴だらけのある細い木を使って杖を作った。
エゾアジサイ	(ガクブチアジサイ)	
エンレイソウ		赤、青、白があり、白がお浸しとして食べられる。
オオウバユリ		根茎を唐揚げにして食用。
オオカメノキ	(ズミ・ガマズミ)	
オオバキスミレ	(キスミレ)	
オオバタネツケバナ		生で塩味で食べられる。てんぷらにしても食べられる。
オクチョウジザクラ	(ヒガンザクラ)	
カガノアザミ		食べられる。
キクザキイチゲ	(キクイチゲ)	
カキドオシ	(レンセンソウ、連銭草)	
オトギリソウ・サワオトギリ		焼酎に漬けておいて火傷や虫さされ、腫れ物に塗り薬として最高。喉が痛い時、うがい薬としても使う。
キツネノボタン	(ドクゼリ)	
キンエノコロ	(ネコジャレ)	
クズ	(クズツバ・クズノキ)	新芽や花をてんぷらにして食用。
コバギボウシ	(アマナ)	若い時、お浸しとして食べられる。
コナギ		乾燥して煎じて飲み、小児喘息を治療する。
サイハイラン		根茎を甘煮にして食用。
サルトリイバラ	(サルカケイバラ)	新芽をてんぷらにして食べる。お正月に仏様に上げる花として使う。
サワギキョウ		根茎が有毒。
サンショウ	(ホンサンショウ)	実を塩に漬けて食べる。木は味噌磨り棒にする。
シオデ	(ヤマアスバラ)	(青森県ではヒデコとも言う。)
シャガ	(サツキバナ)	
シュンラン	(ジジババ、フクロウ)	花を焼酎に漬けて疲労回復剤として飲む。
ショウジョウバカマ	(ポッポ)	
シロダモ	(カシノキ)	
シロバナカモメヅル		幼苗の時、食べられる。
スイカズラ	(ニントウ 忍冬)	葉を煎じて飲む。婦人病の冷え症に効く。
スギナ	(スギナノコ・ツクシ)	
センブリ	(トウヤク、当薬)	胃の薬
ソヨゴ	(ガサガサ)	
タケニグサ		竹を曲げるためにタケニグサで煮ると曲げやすい。
タニウツギ	(ツクナシ)	
タマバホトトギス		若い葉をてんぷらにして食べられる(余計食べると下痢)。酢のもの、生みず酢合い

タラノキ		死んだ人の棺に入れて鬼たたき棒として使う（豊栄の方での言い方）
チシマザサ	(ジンダケ・マカリダケ)	
ツクサ		乾燥してお風呂に入れてあせものを治療する。
ツリフネソウ		猛毒。
テイカカズラ	(ジャスミン)	
トウササグサ	(ヤマミョウガ)	
トウギボウシ	(ウルイ)	
トリアシショウマ	(トリノアシ)	
ナツハゼ	(クロワン)	
ネムノキ	(ネコネコ)	
ノキシノブ	(トキワシノブ)	癌に効く。
ノコンギク	(ノギク)	
ノブドウ	(ヒトコロシ・ウマブドウ)	実を焼酎に漬けて飲んで、実が2個まで食べられ、3個以上食べると下痢する。また、シミ、火傷、虫さされ、傷に塗り薬として使える。
ハイイヌガヤ	(ショウブ)	実の周辺の汁を吸うと甘い。
ハハコクサ	(ツツコ)	
ヒサカキ	(クサカキ・サカキ・インクノキ)	
フジ	(ヤマノフジ)	
フユノハナワラビ	(カンワラド・フユワラビ)	若い緑の穂（胞子葉）を茹でて食べられる（食感が数の子みたい）。
ヘビイチゴ	(ドクイチゴ)	
ホオノキ		新芽食べられる。
マユミ	(オオマユミ)	新芽が食べられる；実が有毒。
モミジイチゴ	(キイチゴ・ヤマイチゴ・フユイチゴ)	
ヤブコウジ	(イチバン)	(センリョウ・マンリョウに対してイチバンと言う。)
ヤマウゴキ		てんぷらや胡麻え。炊きご飯として食用。
ヤマウルシ		有毒性だが、負けない人はてんぷらとして食べられる。
ヤマボウシ	(ヤマグワ)	実をお酒に漬けて飲んで疲労回復剤。
ヤマブキショウマ	(イワガレ?)	
ユキグニカンアオイ		煎じて飲み、婦人病に効く。
ユキグニミツバツツジ	(イワツツジ)	
ヨモギ	(モチグサ・キュウノグサ)	
リンドウ	(ヤマリンドウ)	
ワサビ	(ユリワサビ・ハワサビ)	
キノコ類		
ホコリタケ	(ケムリダシ) 2041-4	傷の塗り薬として使う [白煙（若い時期）・黒煙（成熟時期）などを呼んでいる]。
スギヒラタケ	(スギタケ・ワカイ・ヒラタケ)	胡麻えやみそ汁、炊きご飯でも使える。
ナラタケ	(カワキノコ)	山形県ではアマングリ・オリミキとも言う。 美味しいだが、食べ過ぎると下痢する。
その他キノコ類		
	(クリタケ・シモタケ)	毒がなく、食べられる。油炒め、バター炒めにもよい。
	(ベニタケ) は	毒があり、食べられない。
	(ナベノフタ)	漬けてから油で炒めて食べる。 1898-22
	(ユキノシダ・キンナメ)	食べられる。
	(カワラタケ)	煎じて飲んで、癌に効く。

糖尿病に効くもの：カキドオシ、タラノキの根の皮、スギナ（葉）、ウマブドウ、アマチャヅル、クコ、朝鮮人蔘、ゲンノショウコ、ウゴキ? (全部で10種類)

以上の10種類乾燥したものを同量で3時間を煮込んでその汁を飲む。